

さく×やき

Asuka-Nanjyo presents.

「The Ark Of Gene」  
Idensi-no-fune.  
Eyes of Drgon



070124  
nun

# — マエガキ —

桜の季節です。

俺的桜の季節です。  
俺のさくらの季節は春とは限りませんw うひw

ええ、タマーにやって来るんですよ。  
俺的さくらちゃんの季節が！

前々から描こうと思っていた  
さくら × ともよ漫画の登竜門、

「知世ちゃんにおちんちんが生えちゃったの！ 漫画」に  
ついに挑戦！

ええ、去年年末に行われた  
「さくらフェスティバル」に参加できなかった  
リベンジですよ。

あとはね、  
「さくらとともにラブはにゃ～んv」な漫画を描くって  
前から友達と約束してたから。

いえーい！ 楽しかったぜ！  
相変わらずカツカツで、色々とはみ出してしまった  
シチュエーションとか、やりきれてないけど！  
またさくらちゃんは絶対に描くよ！  
今回の本のリメイクかもね。

(寝ているさくらちゃんにイタズラとか、うれしそうに自分のおちんちんを  
さくらにねじ込むともよとちゃんとか… - は、かなりいい感触の  
シチュエーションだったので、もっと色々と膨らませたかった所！)  
さて、そんな訳で  
今回の本も手にとった皆さん面白味になれば幸い！

あと片津垂水君お手伝いありがとう！

南条飛鳥  
2009年2月8日

アンケート設置の予定です。  
(ぜひ参加してお礼CGもって帰ってください。  
HPアンケート用 パスワード> 「mahouchinko」)

そんでもって友人「裸」の人に謹んでこの本を送るぜ！

# SAKU

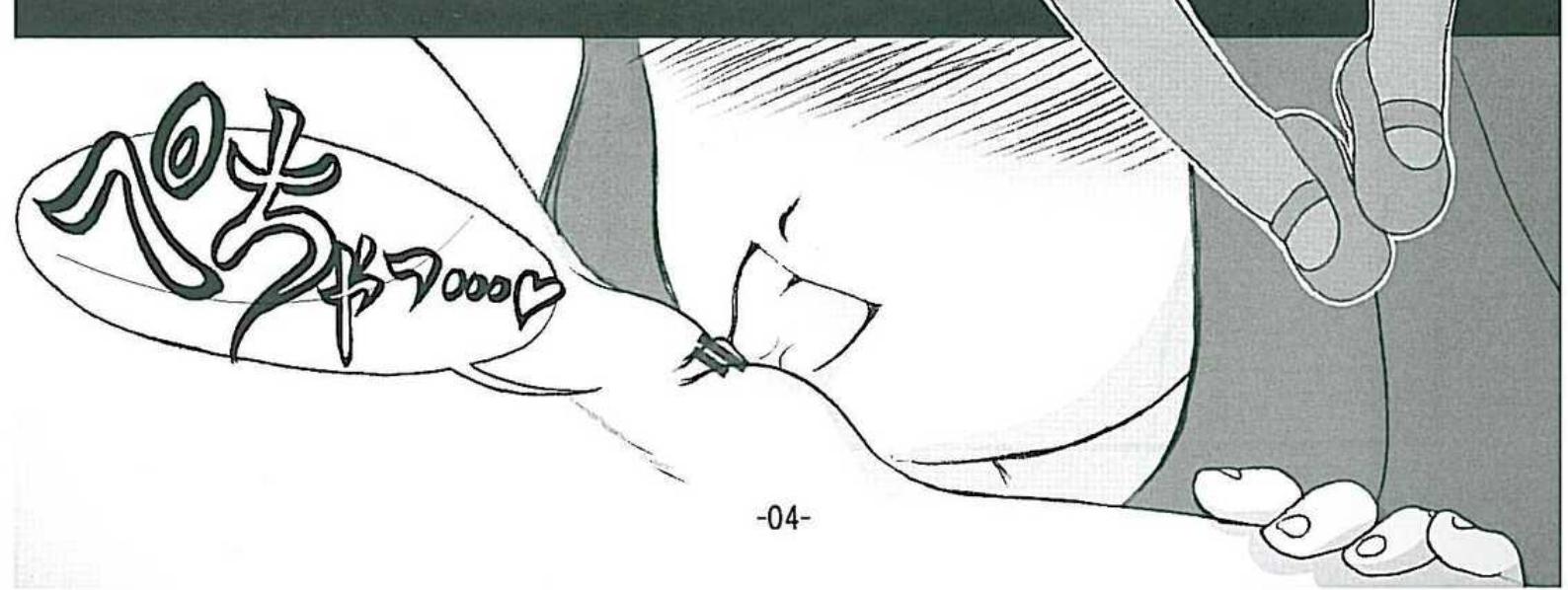


# TOMO

Sakura & Tomoyo's  
Manga.

Asuka-nanjyo  
presents.







あッ…!?



アラ?  
さくらちやん覚えて  
ないんですか?

と違うか  
なんでこんな  
コトになつてのッ!

「おちんちん」  
が  
生えちゃつたので♥

元「おちんちん」  
の手伝つて…

でもさくら  
ちゃんの事件に  
まきこまれるのは  
じんといいですわ♥

いや…  
それ…  
大変なコト  
だよね  
ともよせ  
い!!

私モ服  
作つたわ

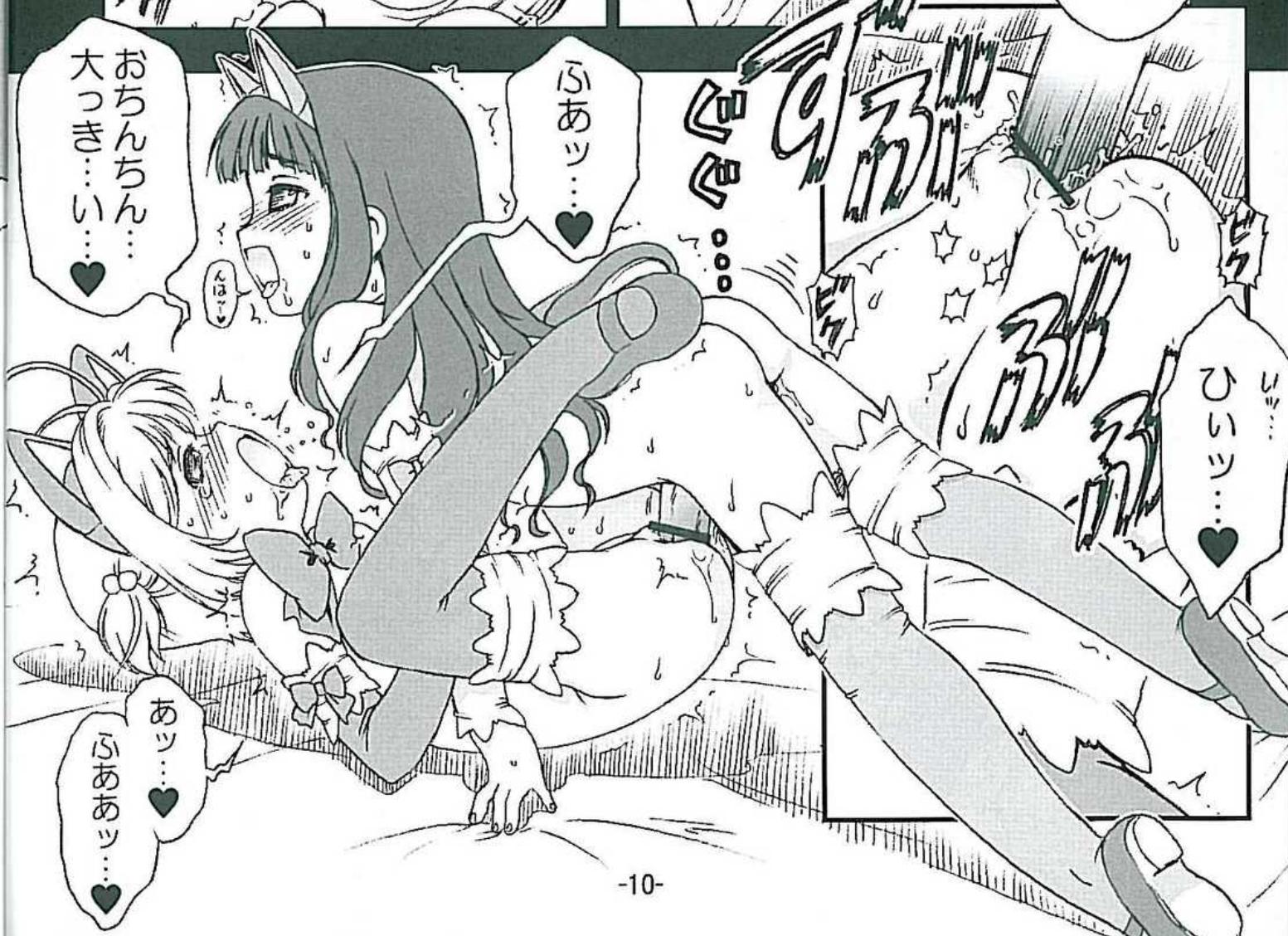


ど







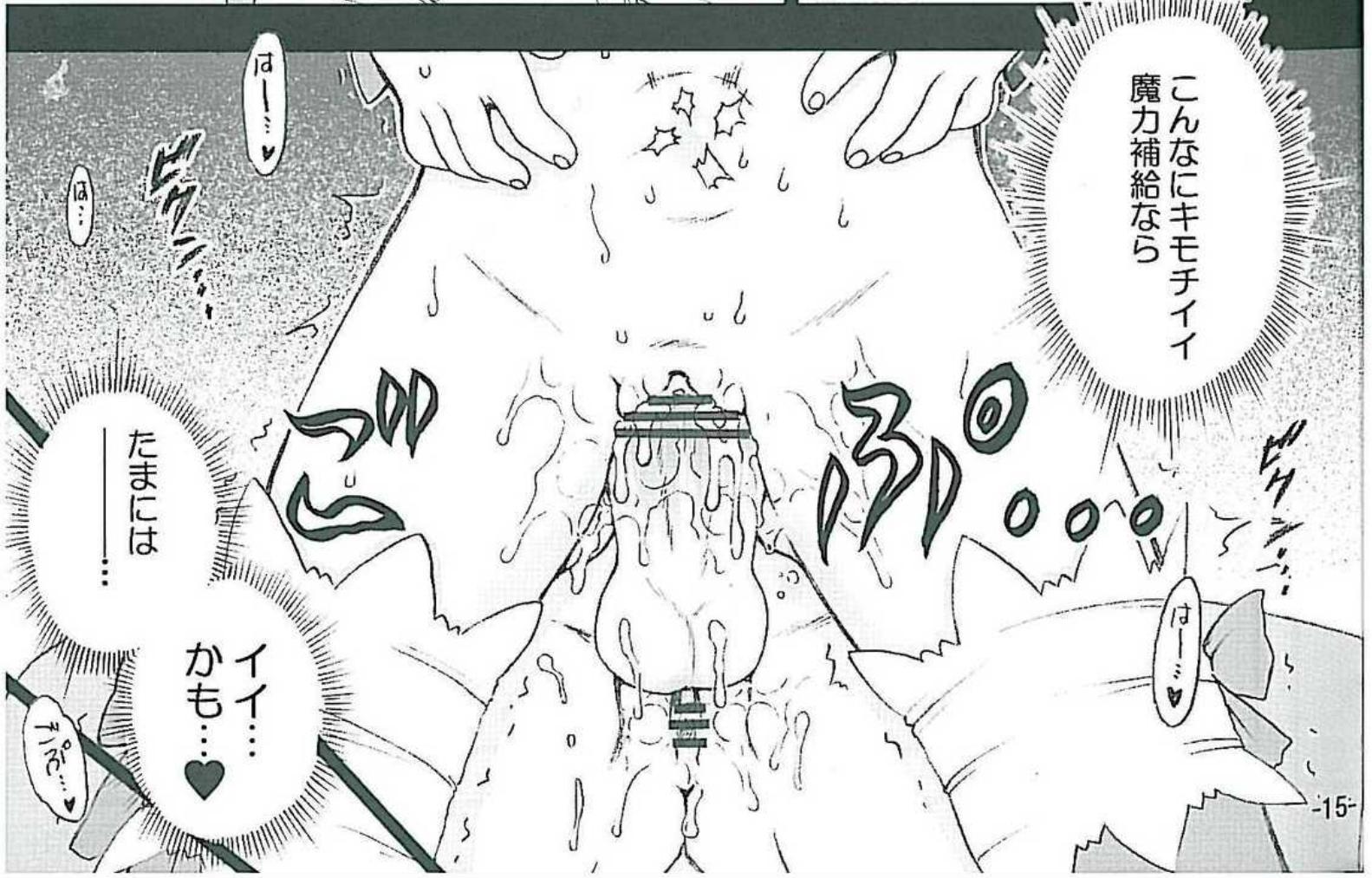
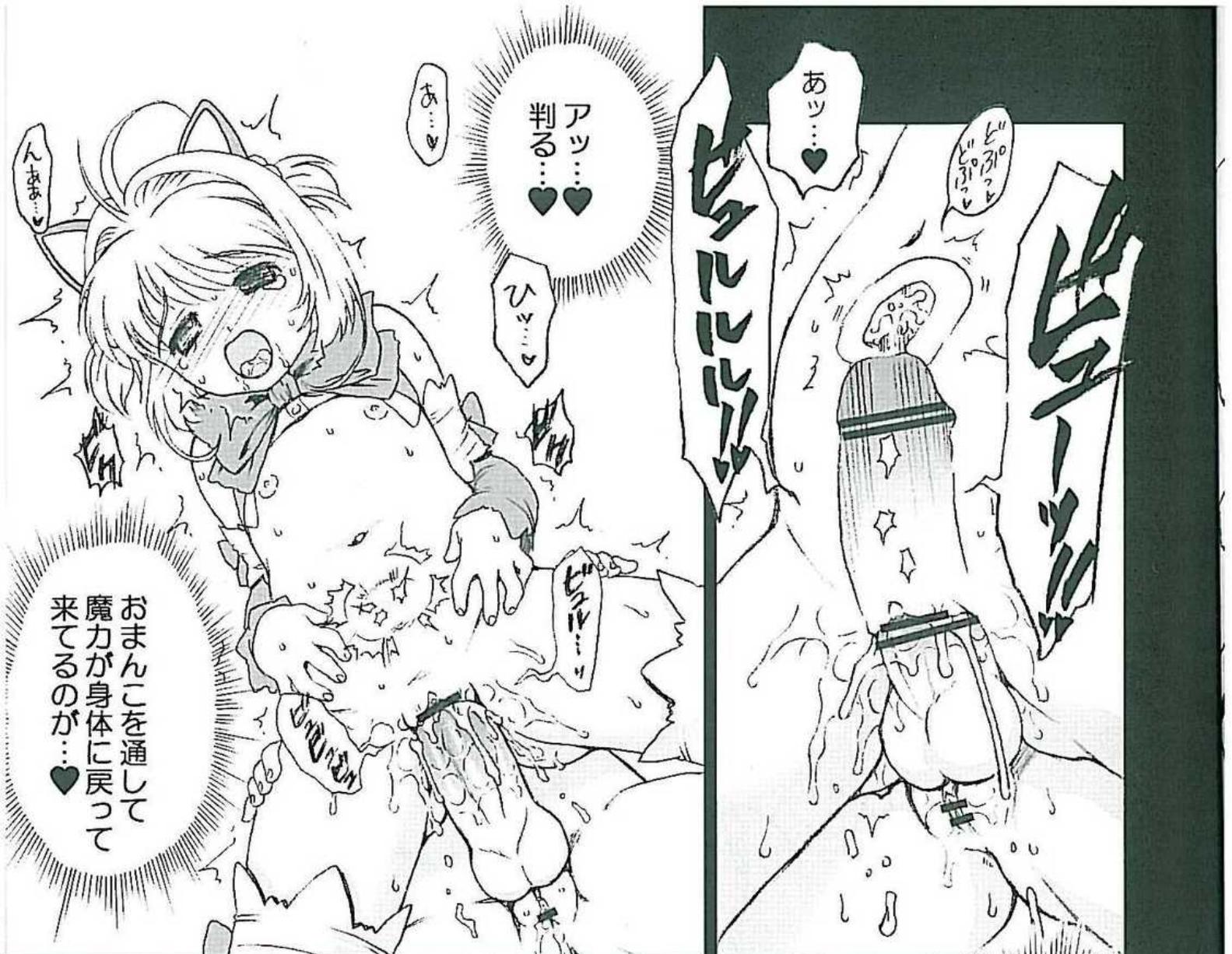












さて次のページからは以前に出したコピー本の再録です。

HPのアンケートのコメントでやたら  
「さくらちゃんのお尻に突っ込みたい！」って  
コメントがスンゲー多くて、

じゃあやってみるかとww  
その再録です。

今原稿を見てみると、結構雑だったりするんですが、  
まあそれはそれ、お尻にこだわった雰囲気は結構好きだったりします。

まあそんな感じなので  
そのまま引出しの肥やしにするものなんなので、  
今回の本のおまけとして収録です。

そして奇しくも、サンクリの為に作ったコピー本であった事に今更ながら気が付く。

面白味になれば幸い。



ちなみにこの絵は、  
今回のエロテン上げに  
描いた物の一枚。  
他にも結構描いたのだけれど  
頭とかバーツとかばかりで  
絵としてちゃんと形になってるのは  
この絵ぐらいだった。

見ての通り初めは  
制服えっちの予定だった。  
シチュエーションが  
転がりに転がって、  
今回の様なオリジナルの  
衣装という事になった。



さくらいろあなる  
りみてつど♥

■ The Ark Of Gene ■ asuka-nanjo presents ■ sunshine creation limited ■

えつ?

今日は「お尻の穴」が良いの?

しかたが無いなあ モオ  
ハイっ!たくさんたくさん  
さくらのお尻でしてねツ  
♥



070610.

「ズブう…」

いきりたつた僕のおちんちんを  
さくらの小さなお尻の穴に押し込む。  
「きやっ…」と軽く可愛らしい歓喜の  
声をさくらが上げる。

「あつは



おにーさんのおちんちん  
ものすごく硬いね…



僕のおちんちんが、さくらの小さな穴の中に  
ゆっくりと押し進めると  
さくらがお尻の力を抜いて挿入しやすくしてくれて  
多少の抵抗を残しつつもやわらかく広がって  
僕のおちんちんを飲み込んでゆく。

ゆっくりと押し進めると

さくらがお尻の力を抜いて挿入しやすくしてくれて

僕のおちんちんを飲み込んでゆく。

僕のおちんちんを飲み込んでゆく。

あ  
おこい  
熱い…

「ず~♪  
ず~♪…」

さくらのお尻の穴の中は  
とろけるような粘つしさで  
僕のおちんちんにからみついてくる。

あまりの気持ちのよさに  
思わず腰を前後に動かし始めると  
さくらも甲高い喘ぎ声を上げて  
僕のおちんちんにあわせて  
腰を動かす。

「あー…  
おちんちん…  
す~♪いー…  
おしりの奥まであついー



喜びの声を上げながらさくらのお尻は  
「きゅつきゅつ」と直腸全体で  
粘つつく僕のおちんちんの全体を  
締めつけてきた。

僕はさくらのお尻を夢中になつて  
何度も何度も突き上げる。

「じゅふつ！じゅふつ！」ヤウ

いつの間にか僕は  
さくらの腰が跳ね上がるほどの勢いで  
おちんちんを突き上げていた。

さくらも苦痛の声を  
あげるどころか  
可愛らしく、  
甘ったるい喘ぎ声を一  
さつきからずっと  
吐息と一緒に  
上げている。

どうやら  
もうすぐ絶頂を  
迎えるようだた。  
僕も腰のグラインドも  
大きくなつて行く。

「イク…

はドカフ

あッワ

ガツ

さくらお尻でイツつちゃう…  
おにーさんのおちんちん…お尻に入れられてイツちゃううう…



「ドップ…！」

「ドップ…！」

「ふしやあああ…」

小さなさくらの  
お尻の穴の奥底に  
僕の精液が大量に注ぎ込まれる。  
同時にさくらの体が何度も  
小さく震えた。

いつもと違う  
体の芯に近い所で  
射精されながら  
さくらはたまらずに  
失禁してしまったようだ。

「はにゃ…  
お尻の中…  
熱ついセーシ来て…アツ…」



何度もお尻の穴に注ぎ込んだ後、  
お尻の穴をわちんちんを差し込んだまま  
さくらを自分の脚で立たせてみる。

腰が抜けているように  
全く足がおぼつかない。  
まるで僕のおちんちんに  
支えられているみたいだ。

そして恥ずかしそうにしながら、  
さくらがその可愛らしい唇を開く。

# 「ブリュリュ…」

僕のおちんちんで栓をした  
お尻の穴から精液が漏れ出して来ている。

お腹がぐるぐると鳴りはじめて、  
大量に注ぎ込まれた精液が

栓をした僕のおちんちんをおしのけて吐き出そうとしている。

しかし…お腹の痛みを我慢して、  
テレ笑いするさくらの顔が  
あまりにもエロ可愛いので  
もう少しの間このままでいようと思う。



「あの…おにーさん…  
わく…おトイし行つてもイイ?」

# — おくづけ —

発行  
遺伝子の舟

2009年2月8日

印刷所  
(有)ニモ印刷工房

発行責任者  
南条飛鳥

場合により専門書店に委託をお願いしていますが、  
当サークルは基本的に活動の一部としての通販等は行っていません。  
ご了承ください。

連絡先  
[asuka\\_wm@hotmail.com](mailto:asuka_wm@hotmail.com)

※本書の18歳未満の購入を禁ずる。  
※無断転載厳禁

ホームページ  
<http://asuka-nan.sakura.ne.jp/index.html>

アンケートページ  
<http://asuka-nan.sakura.ne.jp/enquete.html>

(アンケートに協力してくださった方には今回の表紙の大型版JPGを差し上げています。  
今回はまだお礼イラストのCG作成が出来ていませんのでアンケート設置はやや遅くなる可能性が高いです。)

●今回のパスワードは直接入力で「mahouchinko」●

さく×やも



2009 SPRING

For adult only

18歳以下の購入を禁ずる